

花ちゃん、オー君、モンタ博士、フツ博士のかくかくドド植立ててくさ

国立市立国立第七小学校

平成29年5月16日 NO.18 (418)



エアプランツ

オー君 「あれあれ？この写真は何ですか。」

花ちゃん 「もじゃもじゃのおひげみたいなものがあったり、緑色の葉っぱがありますね。」

オー君 「またまた、モンタ博士は、いつもおもしろいものを見せて、ぼくたちを驚かさそうとしているんですね。」

花ちゃん 「緑色っぽいから、やっぱり植物なんですか。」

モンタ博士 「よく気がついてくれてありがとう。これはね、『エアプランツ』というんだ。土がいらぬ植物で、このごろとてもブームになっているらしいよ。この前、神代植物園で売っていたものなんだ。みんなに見せたいと思っていたんだよ。校長室前にあるし、3年2組の教室にもおすそわけしてあるんだ。見たりさわったりしてごらん。とっても不思議な植物さ。」

花ちゃん 「造花とはちがうんですか。」

オー君 「え！造花^{そうか}って、何^{なん}なの。どういうものなの。」

花ちゃん 「本物^{ほんもの}の花^{はな}は枯^かれてしまうけど、ポリ塩化ビニル^{えんか}などで作^{つく}ったもので、ずうっとそのままの花^{はな}よ。他にビニルやシルク、パンや金属^{きんぞく}などのものもあるわ。」

モンタ博士 「造花^{そうか}とはちがうんだ。エアプランツ^いは生きているのかなと思うけど、きちんとお日様^{ひさま}の光^{ひかり}をうけて成長^{せいちょう}しているものなんだ。もじゃもじゃのひげみたいなのは、少^{すこ}しずつ^の伸びているんだ。」

オー君 「エアとはどういう意味^{いみ}ですか。モンタ博士^{はかせ}！」

モンタ博士 「エアプランツのエアとは空気^{くうき}ということで、土^{つち}のない空^{くうちゆう}中^{そだ}で育^{しよく}つ植物^{ぶつ}ということなんだ。それで『エア』と呼^よびんだね。」

オー君 「土^{つち}がなくても育^{そだ}つか……。わかったようなわかんないような……。」

モンタ博士 「それでは整理^{せいり}すると、ちょっとむずかしくなるけど、一般^{いっぱんてき}的な植物^{しよくぶつ}のように、土^{つち}の中^{なか}に根^ねをはって成長^{せいちょう}するのではなく、岩石^{がんせき}や他の樹木^{ほかに}などに着生^{じゆもく}し、葉^はや根^ねから雨^{あめ}や空気^{くうき}のわずかな水分^{すいぶん}を効率^{こうりつ}よく吸^{きゆうしゆう}収^{せいちょう}し成長^{しよくぶつ}する植物^{ぶつ}さ。」

花ちゃん 「何^{なん}の仲間^{なかま}なのですか。」

モンタ博士 「いい質問^{しつもん}だね。さすが花ちゃん^{はな}だね。このエアプランツの写^{しゃ}真^{しん}の下^{した}は、パイナップル^{ちが}に近い植物^{しよくぶつ}で、原産地^{げんさんち}は北^{きた}アメリカ南部^{なんぶ}～南^{みなみ}アメリカで、雨^{あめ}の少ない砂漠^{さばく}のような所^{ところ}とか、霧^{きり}の多い所^{おほところ}に見^みられるそうだよ。」

オー君 「あまり水^{みず}をやらなくてもいいということですね。水^{みず}やりをさぼってしまっても大丈夫^{だいじょうぶ}なんですね。」

モンタ博士 「そうだね。たまに水^{みず}やりするだけでいいそうで、手^て軽^{がる}に育^{そだ}てられるのがいいね。それに、お部屋^{へや}にかざっておくと、ちょっとおしゃれでいいかもね。」

花ちゃん 「わたしもほしいけど、高^{たか}くないのですか。」

モンタ博士 「そんなに高^{たか}くはなく、300円^{えん}くらいかな。みんなのお小遣^{こづか}いでも買^かえるよ。」

オー君 「よし！ぼくも育^{そだ}ててみようかな。チャレンジ^{そだ}してみようかな。」

モンタ博士 「エアプランツは植物^{しよくぶつ}だし、きれいな花^{はな}を咲^さかせるそうなんだ。モンタ博士はね、そのうち、自分^{じぶん}で育^{そだ}てたエアプランツに花^{はな}を咲^さかせたいと思^{おも}ってるんだ。」

お詫^わび……。5月2日発行の国立てくてく5のN01 5右ページ3行目の岡本^{おかもと}さんの名前の間違^{まちが}いがありましたのでお詫^わびします。誤^ご：岡本そら→正^{ただ}：岡本そらみ。以後十分に注意^{ちゆうい}します。